

小松市学力向上アプローチ（H22 修正版）作成にあたって

平成22年度の学力調査の結果が公表され、各学校におかれましては児童生徒の実態の把握や授業改善、学校研究への今後の方向づけ等に活用されていることと思います。全国学力・学習状況調査は4回目を迎え、国からは多面的な分析を行い、指導上の課題等を明らかにすることが求められています。さらに、小学校と中学校において課題を共有して改善に取り組むことも示されています。

小松市教育委員会では今回の結果を受け、各教科の結果を分析しまとめました。特に、県との比較や経年的な分析を通して、小松市として課題と考えられる分野や問題をピックアップし、その要因を考察し、指導のポイントを掲げることにしました。学力調査の大きな趣旨は指導の改善であり、昨年と同様な課題点については、早急に見直しを図ることが必要です。したがって、本資料を用いて校内研究会を行ったり、学力向上プランの検証を行ったりするなど、校内で活用していただければと思います。そして、各校の課題については、学校全体で改善策を検討し、明日からの具体的な実践につなげていくことが必要であると考えます。

最後に、今回の学力調査の結果から、本市におけるもっとも大きな課題は、「知識・技能の定着」が挙げられます。新学習指導要領を迎える中、言語活動の質的な向上を図るとともに、児童・生徒に確かな学力を身につける指導の充実をお願いいたします。

平成22年10月

小松市教育委員会